

令和7年度事業計画について

事業運営方針

熊本県は、人口が1,696,144人、高齢化率が32.6%（いずれも熊本県推計人口調査（令和6年10月1日現在））で、全国より早く人口減少、高齢化が進行している。このような中、県では、令和3年3月に策定した「新しいくまもと創造に向けた基本方針」（令和3年度～5年度）のもと、熊本地震、新型コロナウイルス感染症、令和2年豪雨災害といった喫緊の課題に立ち向かうとともに、「豊かで活力に満ちた熊本」の実現に向けて取り組んできた。

さらには、世界的な半導体関連企業の県内進出等本県を取り巻く社会情勢の変化等を踏まえ、令和6年12月には県政運営の基本方針である「くまもと新時代共創基本方針」を策定し、「県民みんなが安心して笑顔になり、持続的で活力あふれる熊本の未来を共に創る」を基本理念に、様々な取組みを進めていくこととしている。

この基本方針及び令和6年4月に策定した第9期熊本県高齢者福祉計画・介護保険事業支援計画（長寿・安心・くまもとプラン）において、高齢者には「支える側」「支えられる側」という関係を超えて、長年培った知識や経験・技能を活かして積極的に地域・社会活動に参加し、地域社会の中でいきいきと暮らしていくことが期待されている。

こうした状況を踏まえ、当財団には、「健康で長寿な社会の実現」に向け、高齢者支援の一翼を担うことが期待されており、国や県と協調した施策展開、市町村、社会福祉協議会、老人クラブ、各種団体・企業等と連携した事業等の実施に努めるとともに、簡素で効率的な運営に留意しながら、引き続き下記の事業に取り組むものとする。

記

高齢者の積極的な社会参加を支援するための生きがい・健康づくり事業

事業実施計画

1 高齢者の積極的な社会参加を支援するための生きがい・健康づくり事業

(1) 広報事業 4,947千円

高齢者の生きがいと健康づくりに役立てるための情報を提供することにより、高齢期を元気に生き抜き、明るい長寿社会づくりに寄与する。

① 情報誌「さわやか」の発行（春・夏年2回） (3,748千円)

健康・保健・福祉等に関する情報はもとより、高齢者の社会参加・貢献や仲間づくりに関する記事を掲載した情報誌を発行し、企業、市町村、市町村社協、老人クラブ、病院、公民館、図書館等に幅広く配布する。

② 財団事業紹介等のホームページの運営 (157千円)

当財団の各種情報発信、くまもとねんりんピックをはじめ各種イベントの参加者募集等を行うなど、ホームページにより適時的確な情報を提供する。また、フェイスブックなどにより、財団と利用者あるいは利用者相互の交流の場を提供する。

③ さわやかパートナーシップ講演会の開催 (1,042千円)

熊本さわやか大学校卒業生の地域における主体的な各種活動の活性化及びさわやか大学校の広報のため、各校卒業生会とのパートナーシップのもと、生きがいや健康づくりのための講演会を開催する。

(2) 人材育成事業 12,314千円

高齢者が地域の活力維持の担い手としてその役割を果たせるよう、学習、活動の機会を提供するとともに、高齢者の持つ豊かな知識と社会経験を活用し、その活動の支援を図る。

① 学習機会の提供 (12,153千円)

高齢者が豊かで元気に過ごすための学習機会を提供することにより、高齢社会をリードする人材の育成を図る。

ア 熊本さわやか大学校の開校 (12,012千円)

熊本さわやか大学校を開校して高齢者の生きがい・健康づくりと仲間づくり、更には社会参加の促進を図るとともに、高齢社会を活性化させるリーダーを育成する。

期間 令和7年4月～令和8年3月

	場 所	定 員	実施日	講座数
熊本校	熊本県総合福祉センター	100名	毎週木曜日	40講座
八代校	桜十字ホールやつしろ	50名	毎週火曜日	40講座

イ 出前講座の開催(人吉校、天草校) (141千円)

遠隔地の高齢者を対象に熊本さわやか大学校の講師を派遣して実施。高齢者の生きがい・健康づくり、並びに社会参加の意識を高めてもらうため、数地域で開催する。

② 高齢者の人材活用、活動支援 (161千円)

高齢者が長年にわたって培ってきた知識や経験を活用するとともに、その活動を支援する。

ア 「熊本さわやか知恵袋」登録者の活用

長年にわたって培ってきた知識や技能を有する高齢者を登録し、地域や団体などの利用者からの依頼に基づき登録者を派遣する。

<登録者の分野>

伝承遊び、スポーツ、文化など

イ さわやかボランティアーズ活動の支援

さわやか大学校卒業生で組織するさわやかボランティアーズが実施する大学校卒業後の社会活動(ボランティア)を支援する。

ウ さわやかシニアクラブ活動の支援

企業の退職者及び熊本さわやか大学校卒業生で組織するさわやかシニアクラブが、高齢者の社会参加を目的として行うイベント(小旅行等)の企画を支援する。

(3) スポーツ・文化振興事業 31,752千円

各種のスポーツ・文化活動を通して高齢者の健康保持と交流機会の拡大を図ることにより、新しい仲間づくりや積極的な社会参加を促し、元気に暮らせる地域社会づくりに資する。

① くまもとねんりんピック2025(旧シルバースポーツ交流大会)の開催 (9,233千円)

- ・期間 令和7年3月9日(日)～5月21日(水)
- ・会場 熊本県民総合運動公園ほか10会場
- ・種目 19種目

ラージボール卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、健康マラソン、グラウンド・ゴルフ、ソフトバレーボール、ゴルフ、サッカー、弓道、剣道、太極拳、ダンススポーツ、バウンドテニス、バドミントン、スポーツウェルネス吹矢、健康マーじゃん、

② さわやか囲碁・将棋大会(旧シルバー囲碁・将棋大会)の開催 (839千円)

- ・期日 囲碁 令和7年5月31日(土)、将棋 6月1日(日)
- ・会場 熊本県総合福祉センター

③ シニア美術展(旧シルバー作品展)の開催 (4,364千円)

- ・期間 令和7年9月30日(火)～10月5日(日)
- ・会場 熊本県立美術館 分館
- ・部門 6部門(日本画、洋画、写真、書、彫刻、工芸)

④ 第37回全国健康福祉祭ぎふ大会(ねんりんピック岐阜2025)への選手派遣及び作品の出品 (17,316千円)

ねんりんピック岐阜 2025 にスポーツ等選手団を派遣するとともに、作品を出展し、他県の高齢者等との交流を図る。

- ・開催地 岐阜県内42市町村
- ・期間 令和7年10月18日(土)～10月21日(火)
- ・派遣選手 150名程度(スポーツ及び囲碁・将棋の19競技)
- ・美術展出品 日本画等の6部門の優秀作品各2点を出品